



毎月一定の金額を資産から取り崩す場合、資産を運用しながら取り崩すことにメリットはあるの？



運用せずに毎月一定金額を取り崩すより、必要な資産（元本）が少なくて済みます。

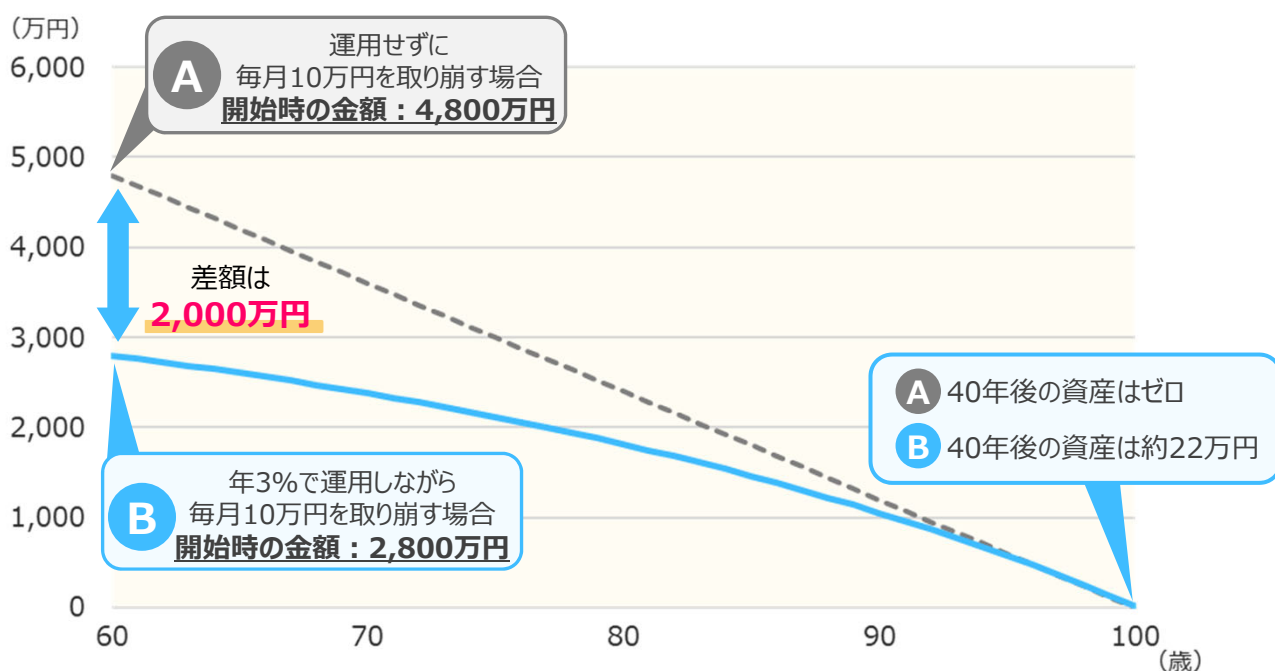
長寿化に伴い、従来のライフスタイルも多様化が進展していることから、資産の寿命を延ばすことが重要になってきます。

そのため、自身の資産から取り崩す場合でも、資産（元本）を運用しながら取り崩した方が、必要な元本が少なくて済みます。

取崩し期間が長いほど、必要な元本の差が大きくなる結果に①

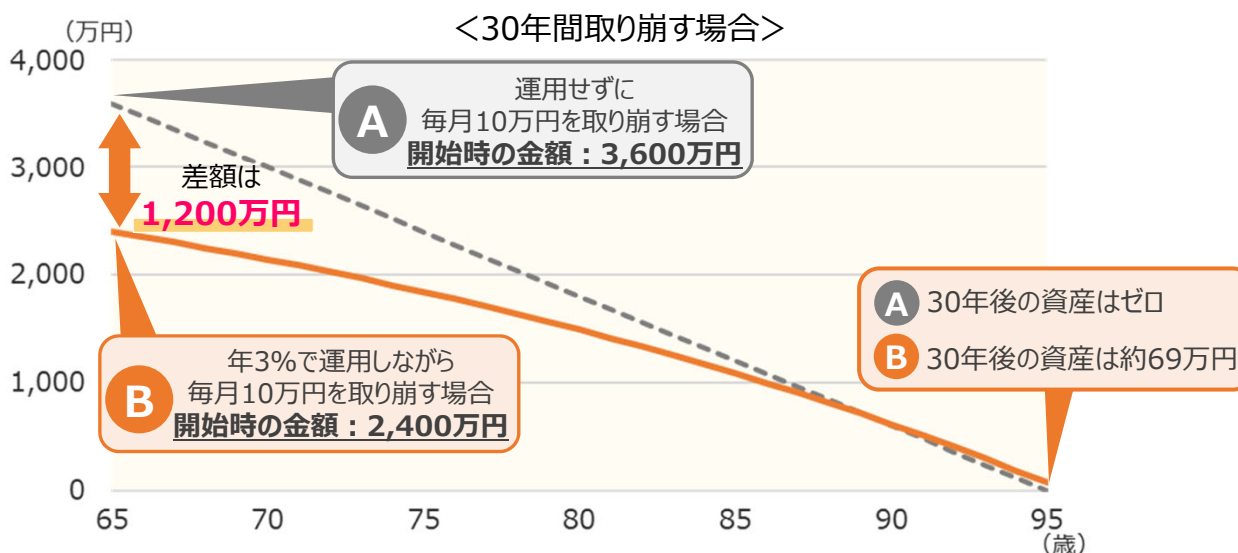
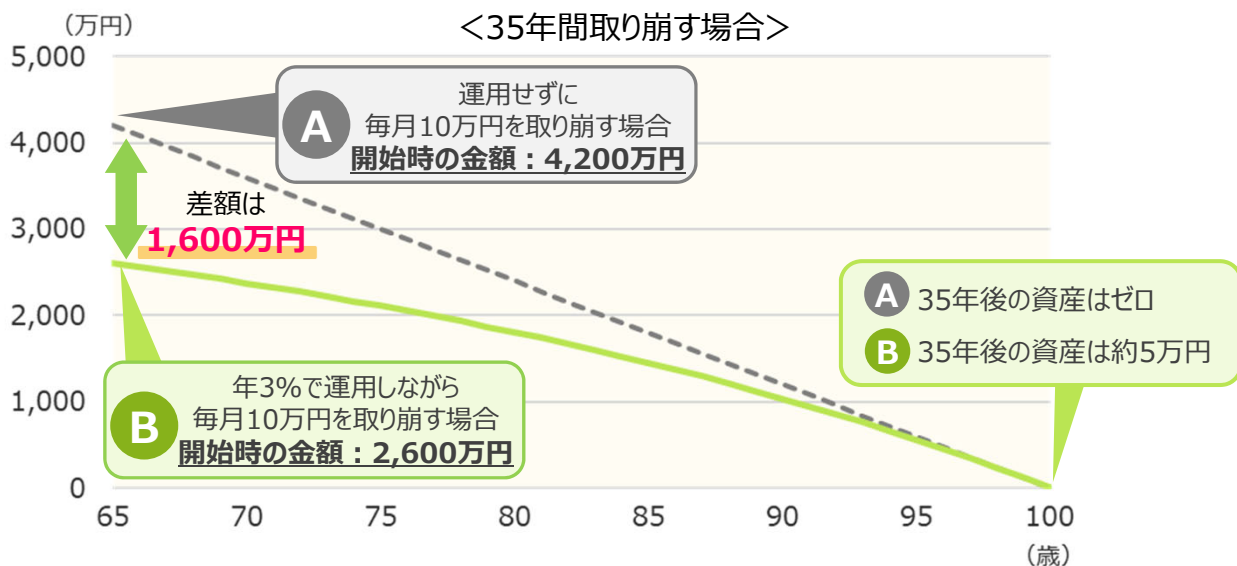
例えば、60歳から40年間、毎月10万円（年間120万円）を**A：運用せずに取り崩す場合**、**B：年3%で運用しながら取り崩す場合**では、必要な元本に2,000万円の差が出ることになります。

<40年間取り崩す場合>



※上記は一定の前提条件に基づいて三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。経費等は考慮されていません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

取崩し期間が長いほど、必要な元本の差が大きくなる結果に②



※ 上記は一定の前提条件に基づいて三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。経費等は考慮されていません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。